

令和2年3月31日

令和元年度政務活動費収支報告書

(あて先) 宇都宮市議会議長

会派の名称

緑の未来

代表者の役職名・氏名

代表 出井 昌子

令和元年度政務活動費の収支について、宇都宮市議会政務活動費の交付等に関する条例第8条の規定により、次のとおり報告します。

1 収入

科 目	金 額	摘 要
政務活動費	800,000円	
預金利子	2円	
合 計	800,002円	

2 支出

科 目	金 額	摘 要
研究研修費	179,250円	
調査活動費	0円	
資料作成費	0円	
資料購入費	8,968円	
広報広聴費	0円	
人件費	0円	
事務費	82,547円	
その他の経費	0円	
合 計	270,765円	

2 残 額 529,237円

政務活動費収入支出記入簿(令和元年度)

(No.)

月	日	科目名	支出内容	支出先	受入	支払	残高
8	15	政務調査費(受入)			200,000		200,000
8	15	事務費	フラットファイルほか	ダイソーアオヤマ		540	199,460
8	23	研究研修費	旅費 高松市(8/23~24)			79,060	120,400
8	23	研究研修費	研修参加費(8/23~8/24)			5,000	115,400
10	15	政務調査費(受入)			600,000		715,400
10	25	資料購入費	「住民と自治」	とちぎ地域・自治研究所		5,400	710,000
10	21	研究研修費	研修参加費(10/30~10/31)			7,550	702,450
10	29	研究研修費	旅費 全国市議会議長会研究フォーラムin高知(10/30~10/31)			87,640	614,810
11	1	資料購入費	都市計画総括図等	宇都宮市都市計画課		904	613,906
11	5	事務費	チューブファイルほか	上野文具		3,154	610,752
11	11	事務費	FAX利用料(10月分)	NTTファイナンス株式会社		3,130	607,622
11	23	事務費	フラットファイル	ダイソーアオヤマ		440	607,182
12	10	事務費	ケーブルTVインターネット使用料(12月分)	宇都宮ケーブルテレビ株式会社		4,059	603,123
12	25	事務費	鉛筆削りほか	上野文具		5,449	597,674
12	25	事務費	ボールペン替え芯	上野文具		1,394	596,280
1	11	事務費	FAX利用料(12月分)	NTTファイナンス株式会社		5,305	590,975
1	11	事務費	プリンターインク	株式会社キガ		53,792	537,183
2	17	預金利子(受入)			2		537,185
3	10	事務費	FAX利用料(2月分)	NTTファイナンス株式会社		5,284	531,901
3	16	資料購入費	「社会新報」購読料(2019年12月~2020年2月)	社会民主党栃木県連合		2,664	529,237

【①: 研究研修費】

整理 番号	月	日	費 目	支出内容	支出先	金 額	備 考
1	8	23	旅費	旅費 高松市(8/23~24)		79,060	
2	8	23	研修参加費	研修参加費(8/23~8/24)		5,000	
	◎		合 計			84,060	

政務活動費科目別明細書(令和元年度)

【①:研究研修費】

(10月分: ページ)

整理 番号	月	日	費 目	支出内容	支出先	金 額	備 考
1	10	29	旅費	全国市議会議長会研究フォーラムin 高知(10/30~10/31)		87,640	
2	10	21	研修参加費	全国市議会議長会研究フォーラムin 高知(10/30~10/31)	株式会社JTB	7,550	
	◎		合 計			95,190	

【④:資料購入費】

(10月分: ページ)

整理 番号	月	日	費 目	支出内容	支出先	金 額	備 考
1	10	25	図書購入費	「住民と自治」購読料	とちぎ地域・自治研究所	5,400	
	◎		合 計			5,400	

政務活動費科目別明細書(令和元年度)

【④:資料購入費】

(11月分: ページ)

整理 番号	月	日	費 目	支出内容	支出先	金 額	備 考
1	11	1	資料購入費	都市計画総括図等	宇都宮市都市計画課	904	
	◎		合 計			904	

【④:資料購入費】

(3月分: ページ)

整理 番号	月	日	費 目	支出内容	支出先	金 額	備 考
1	3	16	資料購入費	「社会新報」購読料 (2019年12月~2020年2月)	社会民主党栃木県連合	2,664	
	◎		合 計			2,664	

【⑦:事務費】

(8月分: ページ)

整理 番号	月	日	費 目	支出内容	支出先	金 額	備 考
1	8	15	消耗品費	フラットファイル	ダイソーアオヤマ	540	8/7支払い
	◎		合 計			540	

【⑦:事務費】

(11月分: ページ)

整理 番号	月	日	費目	支出内容	支出先	金額	備考
1	11	5	消耗品費	チューブファイルほか	上野文具	3,154	
2	11	11	通信費	FAX利用料(10月分)	NTTファイナンス株式会社	3,130	
3	11	23	消耗品費	フラットファイル	ダイソーアオヤマ	440	
	◎		合計			6,724	

【⑦:事務費】

(12月分: ページ)

整理 番号	月	日	費目	支出内容	支出先	金額	備考
1	12	10	通信費	ケーブルTVIN使用料(12 月分)	宇都宮ケーブルテレビ 株式会社	4,059	
2	12	25	消耗品費	鉛筆削りほか	上野文具	5,449	
3	12	25	消耗品費	ボールペン替え芯	上野文具	1,394	
	◎		合計			10,902	

【⑦:事務費】

(1月分: ページ)

整理 番号	月	日	費 目	支出内容	支出先	金 額	備 考
1	1	11	通信費	FAX利用料(12月分)	NTTファイナンス株式会社	5,305	
2	1	11	消耗品費	プリンターインク	株式会社キガ	53,792	
	◎		合 計			59,097	

【⑦:事務費】

(3月分: ページ)

整理 番号	月	日	費 目	支出内容	支出先	金 額	備 考
1	3	10	通信費	FAX利用料(2月分)	NTTファイナンス株式会 社	5,284	
	◎		合 計			5,284	

政務活動実績報告書

令和元年8月26日

緑の未来
出井昌子 様

報告者

出井昌子

実施日	令和元年8月23日～令和元年8月24日
調査地又は 研修会開催地	香川県高松市
調査研究項目	1. 教育と憲法について 2. 地方自治と議員・議会のめざす姿について 3. 小豆島土砂搬出から考える民主主義について ※アーケド街の鬼才的 なまちづくりの実践 について

調査研究概要

1. 基調講演「教育と憲法」

① 講師：前川喜平氏（元文部大臣秘書官）

② 場所：高松市生涯学習センター まなびCANホール

- ③ 内容：「公教育は憲法に基づいてなされるべきではない」＝大前提
- ・ 学内の自由、教育を受けよう権利＝学習権はだれでも持っている。
 - ・ 自らの学問の自由に支えられて教育がある。
 - ・ 国が教育に関与することはない。（中央審議会等）憲法に則していれば合法。
 - ・ 教育はあくまで「学内の自由に基づくもので、憲法に基づかないものはすべて不当な支配である。教育の自由を侵害するものはすべて不当な支配。
 - ・ 子どもに学校に行く「権利」はあるが「義務」はない。子どもに権利があるために学校がある。「義務教育」は親に対して、子どもを行かせるためにある。
 - ・ 社会権としての学習権が大切。そのために文科省がある。
 - ・ 教育を受けよう権利は、収入の如何にかかわらず。→平等。
 - ・ 教育の4つの権利… 平和権、平等権、社会権、参政権

・知る権利、学ぶ権利は車の両輪。

結論

教育の目的は自らの尊厳を主張してまづ個人になりしこと。
まづ個人が自立し、自立した個人がつながって市民になり、
かみ合わせて市民社会を作っていく。
国家や社会があらかじめあつたのではない。自立した個人があつて
はじめて作られしものである。

学び

教育は憲法に則り、個人の自由でなされしものであつて
強制されてはいけな。個人へと確立していく手段。

又、自分を大事にする事、が人権教育の出发点。

憲法は決して国家主義ではなく個人を大事にし、それが

民主主義だ。教育の名のもとに、支配が隠れていないか、

もっと敏感にならなければならぬ。(義務教育の義務とは、親が子どもを教育する義務のこと)

2. 分科会「改めて考える 地方自治と議員・議会のためです姿」

①講師：福嶋浩彦氏（中央学院大教授、元我孫子市長）

②場所：まなびCAN視聴覚室

③内容：題目「無作為抽出の市民討議 - 民主主義を進化せよ」

学びにこれまでの経済大成長時代の自治体は、市民の意見と大々数から

順に聞き入れ、予算を使ってきたが、これからの人口減少社会では、

多様な意見の人口が対話と討議によって決定していく新たな

仕組みが必要になる。民主主義の中心である議会においても

議員同士の討議が重要になる。民主主義の進化である。

多様な市民の討議を実現する際に有益なのか、同じ意見や

利不益の肉付けない、無作為な抽出において選んだ市民

たちによる討論会だ。

これから人口減少時代に入ると、人口減少をくい止めるための施策は

結局、従来の社会システムを維持したため、他からうばうものだ。

くい止めだけでは、人口減になっても幸せになれる社会に、仕組み

を変えよと、多様な意見を出し合い、適切な選択をする

民主主義に変えていかなければならぬ。

※この報告書は、調査研究事項にかかる関係資料と併せて会派で5年間保存してください。

また、年度終了後は、この報告書の写しのみを議長に提出してください。

3. 分科会 「辺野古の問題は私たちの問題ー小豆島土砂搬出から

① 講師：阿部悦子氏 (土砂全協共同代表) 教子

② 場所：まびCAN視聴覚室

③ 内容：「土砂全協(辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会)の歩み

辺野古土砂搬出反対運動の始まりは――

「どの政界にも戦争に使う土は一粒もない」

土砂調達先 1300億円、瀬戸内、内司、五島、天草、大隅奄美、徳之島などから調達

土砂採取地が「反対」で連帯していく。

◎ 土砂に入っている様々な小生物等が、辺野古の海を荒らしていく。特に「特定外来生物」がもたらされることが多い。サンゴや在来種が減れば、多様性が失われていく。また採取地でも自然破壊などの問題が。中には、白亜紀の化石の出土地もあり住民が反対運動。生物多様性の観点から辺野古埋立ては抑え直さなければいけない。

4. 高松市「丸亀町商店街」「常磐町商店街」の見学

応対者：高松丸亀町商店街振興組合開発担当副理事長 明石光生氏
高松市 都市整備局都市計画課主幹兼任宅まちづくり推進室長

経過： 明石氏より商店街の会議室で約40分の町づくりのお話を伺った後、実際に中央商店街を歩ながら都市計画課主幹より「高松市中心市街地活性化事業」について、簡単な説明を受けた。(約700m)

調査研究事項の概要

① 事業実施目的と基本的コンセプト

- ・空き店舗補が目立つようになり、ドーナツ化現象が進んだ街中を「にぎわい、回遊性、豊かな暮らしのあふれる町」にすることを目的としている。
- ・基本的コンセプトは、「全国一の商店街を作る」ではなく、「地域で一番住んでみたい町に作り変える」こと。「100年先に向けて進化し続ける町、安心安全で美しく便利な町、住みやすく居心地の良い町」

※この報告書は、調査研究事項にかかる関係資料と併せて会派で5年間保存してください。また、年度終了後は、この報告書の写しのみを議長に提出してください。

② 実施場所

- ・高松市中心街(JR高松駅等を含み高松港から中央通り約2kmを中心とする約250haの地域)

③ 具体的取組内容

- ・地域をゾーニングする。ex. 官公庁・病院ゾーン、オフィスゾーン、商店街ゾーン
- ・商店街ゾーンも更にゾーニング。ex. アートカルチャー街、美・健康・ファッション街など
- ・「車の駅」の設置… 田舎駐車場の整備、共通駐車サービスシステム
カーシェアリング

美しい町づくり

- ・人が集まれる広場を作る… 丸龜町100年ドーム、ドームの下の広場(カラストーム)
- ・100年アーケード… 総延長2.5kmにもわたる。
- ・100年街路… 1.5m壁面後退して、街路を美しい遊歩道公園にする。
街路種子やベンチの設置

- ・高齢者が安心安全に居住する為に必要な施設(医・食・住)の再整備
 - 医 = 総合的診療所、予防医療センター
 - 食 = 産直生鮮市場、健康レストラン
 - 住 = 防犯システムと防犯体制(防犯カメラ、自警団)

- ・都心居住者の便利な足としての「まちなかルーフバス」

④ 実施効果

	基準値(H24)	目標値(H29)	実績値(H29)
空き店舗率	16.6%	14.9%	17.8%
歩行者通行量(往) 131,878人		141,000人	118,567人
中心市街地居住率	4.8%	5.1%	4.8%

- ⑤ 人口40万、県の首都、中心商店街の衰退、ドーナツ化等、宇都宮市と似ている。その中で、日本一「住み良くなり美しい街」を目指し、実効的な事業と民間と行政が協力をし、100年カラストーム等本気で美しい街を創っている高松市は、とても参考にはなった。市民がいこいなから、町を回遊している。宇都宮市にも活かしたい。

全体のまとめ

2日間3度、教育行政、町づくりについて学ばせていただき、とても勉強になった。特に県庁所在市でありながら活気の無くなった中心街の再生など、宇都宮市政に活かせるものがあった。

※この報告書は、調査研究事項にかかる関係資料と併せて会派で5年間保存してください。また、年度終了後は、この報告書の写しのみを議長に提出してください。

政務活動実績報告書

緑の未来
出井昌子様

平成元年11月/日
令和

報告者

出井昌子

実施日

令和元年10月30日(水)～令和元年10月31日(木)

調査地又は
研修会開催地

高知県高知市

調査研究項目

全国市議会議長会研究フォーラム

調査研究概要

1. 開催日時 10月30日(水) 午後1時から 午後7時
10月31日(木) 午前9時から 午前11時30分
2. 開催場所 高知5"ほ"ムセンター
3. 主催者 全国市議会議長会
4. 講師 基調講演… 東京工業大学バリアレス研究教育院教授
中島岳志氏
パネルディスカッション
坪井ゆうり氏(朝日新聞論説委員)
高部正男氏(市町村職員中央研修所学長)
横田響子氏(お茶の水女子大客員准教授)
古川康造氏(高松丸亀商店街振興組合
理事長)
田鍋剛氏(高知市議会議長)

課題討議… 滝沢一成氏(上越市議会議員)
久坂くに之氏(鎌倉市議会議員)
小林雄二氏(岡南市議会議長)

5. 研修会の概要

- ① 基調講演「現代政治のマトリクス-リベラル保守という可能性」(1時間)
- ② パネルディスカッション「議会活性化のための船中八策」(2時間)
- ③ 意見交換会(1時間)
- ④ 課題討議「議会活性化のための船中八策」(2時間)
～事例報告等～

6. まとめ

- ① リベラル派と保守派というゆく組みと、政治の歴史や世界状況など様々な観点から焦点もあてながら、リベラルでも保守でもない「リベラル保守」という新しい立ち位置の重要性と有効性を解き明かしてくれ、非常に参考となった。
- ② 全国的にまだ女性の社会進出は遅れており、女性議員も同様。これから女性議員を増やすことは社会で重要だが、政治への関心も高めのことも同じく重要。相関関係だが首都官市も投票率が低いことから、女性の立候補者を増やしていくことが重大課題である。
- ③ 八策として
〈1〉行政監視機能を持つ
〈2〉次世代を見据えて議論をしよう
〈3〉ネタをもちろめた理論をもとう
〈4〉多様性を確保する
〈5〉96条1,2項 議会の方からしかける活用をしよう
〈6〉労働法制を見返す(国の制度を変える)
〈7〉情報公開を徹底しよう
〈8〉議員間討議をしよう

が坪井氏から導き出された。これからの市民に用かれた議会にするために有識的な指標として活用したい。

- ④ 今後この研修を一般質問、委員会質疑、要望などで活かしていきたい。

※この報告書は、調査研究事項にかかる関係資料と併せて会派で5年間保存してください。
また、年度終了後は、この報告書の写しのみを議長に提出してください。